

事務事業名 届出保育施設健康診断費補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：323

施策：	01	子育て支援の推進	財務コード	01030205-11-242
基本事業：	01	幼児教育・保育の充実	担当部	こども部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	こども政策課
			担当係	保育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成23年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
届出保育施設（認可外保育施設）に従事する職員及び届出保育施設に入所している児童（平成23年度から対象）			（事業内容） 利用児童の安全衛生を確保し、児童の福祉の向上を図ることを目的とし、届出保育施設の職員及び利用児童の健康診断費に対して補助金を交付する。 （対象施設） 市内の届出保育施設 12施設（企業主導型保育施設を除く。）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【根拠法令】筑紫野市届出保育施設健康診断費補助金交付要綱						
届出保育施設の職員の安全衛生の確保と保育を受ける児童の健康の確保を図ることで、児童の健全育成の促進につながっています。			【補助金】 ・保育対策総合支援事業費補助金（届出保育施設の衛生・安全対策事業）（県2/3 職員分） ・福岡県届出保育施設利用児童健康診断費補助金（県1/2 児童分）						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
助成人数		人	222	311	310	310			320
5. コスト									
事業費		計	千円	337	436	611	605		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	238	299	354	344		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	782	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,119	2,041	2,287	605			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		（状況）令和6年度の助成人数は前年度と比べ増加しています。 （原因）補助対象者を市内の児童に限定していたものを令和6年度から市外の児童についても補助対象とすることで、助成人数が増加したものと考えられます。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
入所基準に満たない児童や待機児童等が届出保育施設を利用している場合もあるため補助するものである。令和6年度から補助対象者を市内の児童のみから市内及び市外の児童に拡大。			備考・特記事項 or 進行管理欄 令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化により届出保育施設の利用者が増加している。						